

8.2 展示会

会期中、沖縄県内で展開されている地域情報化関連の経済産業省施策や県独自の事業のパネル展示や実演プレゼンテーションを行いました。

NO	出 展 名	開発団体 / 会社名
1	名護ファイバーシティ事業	名護市マルチメディア推進協会
2	親子ネット	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構
3	琉球文化デジタルアーカイブ ワークグループ	琉球文化デジタルアーカイブワークグループ (特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構内)
4	e-island の沖縄をめざして	沖縄県 情報政策室
5	映像素材のデジタル化及び流通システム	NTT データ・沖縄映像センター
6	沖縄市地域空間情報システム	株式会社トロピカルテクノセンター
7	読谷村バーチャル平和資料館整備事業	有限会社琉球出版社
8	座間味村バーチャルアイランド コミュニティシステム	アイオニクス沖縄株式会社
9	石垣メロウ観光ガイドサービス	石垣市観光協会
10	OKINAWA SENIOR NET . 熱帯果樹倶楽部	沖縄県官公庁労働者共済会
11	ホスピタリティ型石垣観光情報システム	株式会社タウンマネジメント石垣



出展企業・団体紹介

ブースNo. 1

開発テーマ：**名護ファイバーシティ事業**

要 請 者：名護市マルチメディア推進協議会

〒905 - 2172 沖縄県名護市豊原224 - 3

TEL：0980 - 55 - 3333

事業紹介

事業の目的

「名護ファイバーシティ事業」は、名護市役所と名護市マルチメディア館を核として名護市立中央図書館、医療機関、観光施設、学術機関等の各情報提供センター及びそれらの情報を利用できる端末を配備した各地域の公民館などの公共施設を結ぶネットワーク「地域イントラネット」を構築し、行政・教育・医療・福祉等の高度化を図り、情報通信産業の振興と地域の活性化に寄与することを目的とする。

事業の概要

地域イントラネットの整備(平成12年12月完成)

- ・名護市内の7つのセンター(名護市役所、名護市マルチメディア館、名護市立中央図書館、名桜大学、北部地区医師会病院、名護市観光協会、やんばる物産センター)を結ぶ光ケーブルを敷設し、高速大容量伝送が可能な通信インフラを整備した。
- ・さらに名護市全域に光ファイバーを敷設し100Mdps の高速通信を可能とする通信インフラを整備した。(19拠点)
- ・各地域の拠点となる施設からその地域の公民館等の施設をカバーする広域無線を配備した。(55ヶ所)

事業の効果

身近に行政情報などにアクセスできる環境になり、情報に開けた町となる。

他の地域との情報格差がなくなる。

公共施設等の効果的運用が図れる。

今後の名護市における各分野の情報化の基盤となる。

将来の展望

「産業振興」「人材育成」「行政サービスの向上」の三本柱を基本コンセプトに、地域の活性化・高度化・就業機会創出を図り、創造性豊かな魅力ある地域づくりを目指す。

北部イントラネットの整備

名護市で進めてきた地域イントラネットを北部地域11町村全てに光ファイバー及び広域無線を配備し、北部広域圏全体のIT推進化を図る。

ブースNo.2

開発テーマ：親子ネット

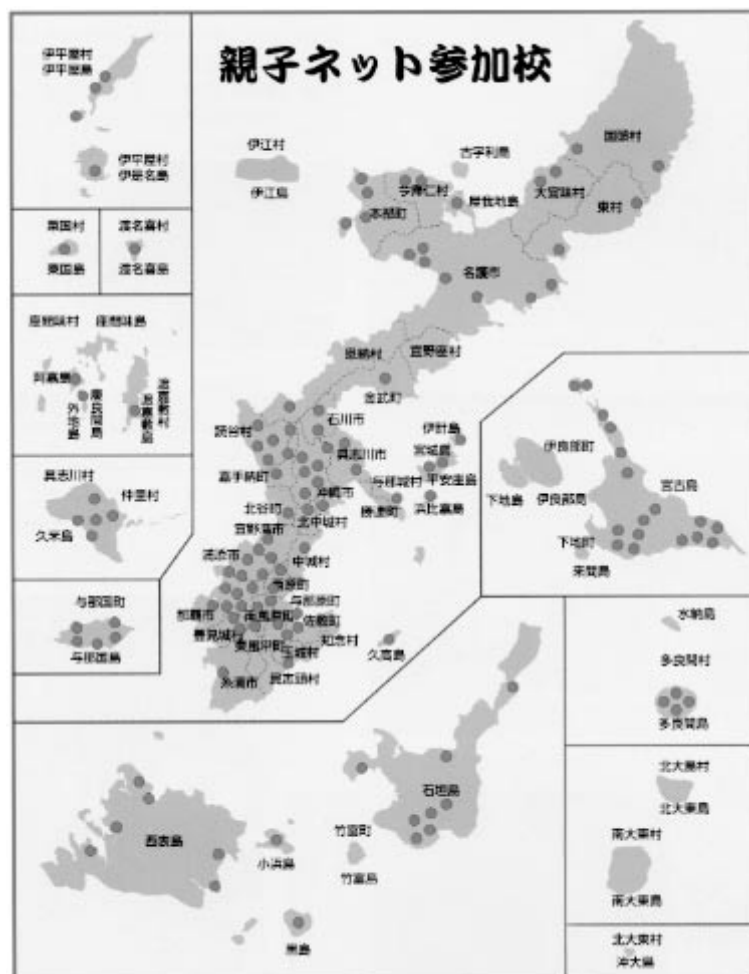
要 請 者：特定非営利活動法人 フロム沖縄推進機構 親子ネット事業

〒902 - 0025 沖縄県那覇市壺川165番地 沖縄県マルチメディアセンター内
TEL : 098 - 833 - 9095

システム概要

親子ネットは、情報に不利な離島からインターネット接続環境を整備して、最終的に県全体のインターネット接続環境の向上を目指し貢献して参りました。

親子ネットは、要望等に応じて、本会からボランティアを派遣し、講習会を開催しておりますが、その活動には、将来児童・生徒が社会の担い手となるよう情報化教育の環境支援、講習会を支援し、また地域情報化にも寄与して参りたいと考えているからです。



出展企業・団体紹介

ブースNo. 3

開発テーマ：沖縄県マルチメディア・モデル美術館展開事業
(琉球文化アーカイブ事業)

要 請 者：フロム沖縄推進機構

〒900 - 0025 沖縄県那覇市壺川165番地(壺川ビル2F) 沖縄県マルチメディアセンター内
TEL : 098 - 833 - 9095

事業紹介

経緯

沖縄県マルチメディア・モデル美術館展開事業(通称「琉球文化アーカイブ」)は、平成10年度三次補正予算で、通信・放送機構(TAO)の「創造的通信・放送システム開発事業」に、沖縄県が応募し協力自治体として採択された事業です。

沖縄県が実証実験に必要なフィールドの提供や支援を行っており、実験に必要なコンテンツ制作は、フロム沖縄推進機構(NPO)のワークグループのひとつである琉球文化デジタルアーカイブワークグループが担当いたしました。

目的

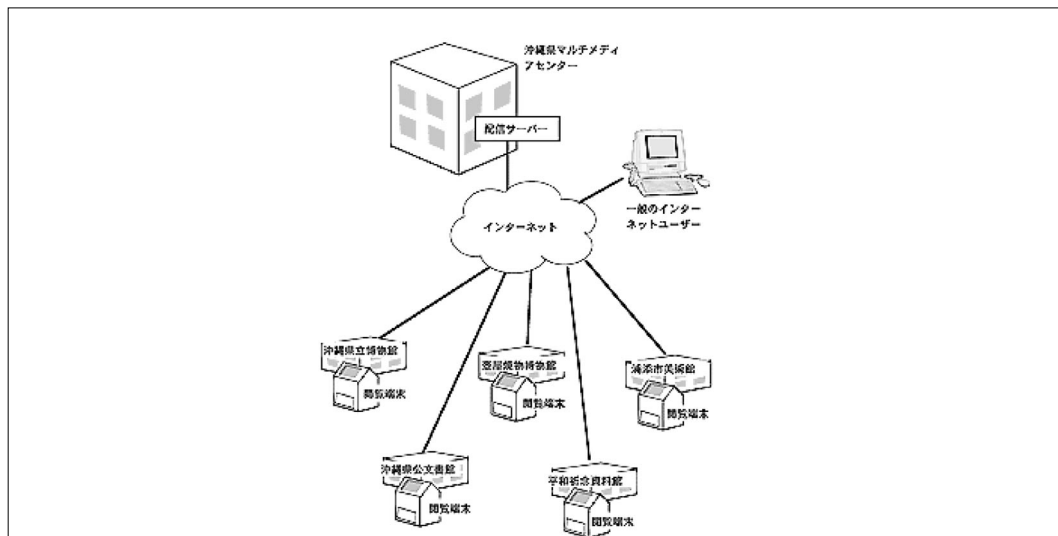
複合コンテンツ分散データベース環境下における管理機能の実証実験のフィールドとして電子美術館・博物館を構築し、デジタル化された琉球の歴史や文化、伝統、自然などをインターネットで世界へ発信することで、文化的資産の保存・継承や県民生活の向上に貢献し、将来的にはコンテンツ産業、観光産業などの振興を図ることを目的とします。

システム

沖縄県立博物館、沖縄県公文書館、沖縄県平和祈念資料館、那覇市立壺屋焼物博物館、浦添市美術館の5館や沖縄県教育委員会、文化振興課などを中心に集められた素材は、琉球文化デジタルアーカイブワークグループでコンテンツが製作され、平成11年12月からインターネットで広く発信されています。

また、拠点となる5館では来館者用のパソコンで公開されており、浦添市美術館では高精細画像による収蔵品の紹介、DVDによるオリジナル映像作品の公開もされています。

システム全体構成図：



アドレス：<http://museum.mm.pref.okinawa.jp>

ブースNo. 5

開発テーマ：**映像素材のデジタル化及び流通事業の事業化
検証プロジェクト**

申請者：（株）NTTデータ 社会情報システム事業部 第二企画開発部

〒900 - 0015 沖縄県那覇市久茂地1 - 7 - 1 琉球リース総合ビル8F

TEL：098 - 860 - 3693

システム概要

中小企業が大多数を占める全国の映像制作会社は、大量のアナログ映像素材を保有しており、それらの中には、希少なもの、独創的なもの、歴史的文化的価値のあるものも多いが、系統だった保管方法がとられていないことから再利用しにくい、流通しない等、本来の価値を活かせない状況にある。映像素材のデジタル化及び流通システムは、平成12年度に（財）新映像産業推進センター（現：（財）デジタルコンテンツ協会）から（株）NTTデータが開発及び実証実験を受託した事業で、大規模デジタルライブラリによる品質劣化のない映像素材を確保し、高品質な映像の高速・廉価な流通を実現する新たな市場を構築することで、これら時間とともに劣化・消滅しつつあるアナログ映像素材を発掘し、映像制作会社の映像資産の活用、映像ソフトの制作工程効率化及び制作費用削減を実現する。これにより映像制作会社の活躍機会の増大、ひいては映像業界全体の活性化を目指す。今年度、沖縄産業支援センタにデジタルアーカイブセンタを設置し、映像素材デジタル化事業、映像素材流通事業の事業化検証（フィジビリティスタディ）を実施している。

ブースNo. 6

開発テーマ：**沖縄市地域空間情報システム**

要 請 者：沖縄市 企画部情報課

〒904 - 8501 沖縄県沖縄市仲宗根町26番1号

TEL：098 - 939 - 1212（代表）

申 請 者：（株）トロピカルテクノセンター 情報開発部

〒904 - 2234 沖縄県具志川市字州崎5 - 1

TEL：098 - 982 - 1100（代表）

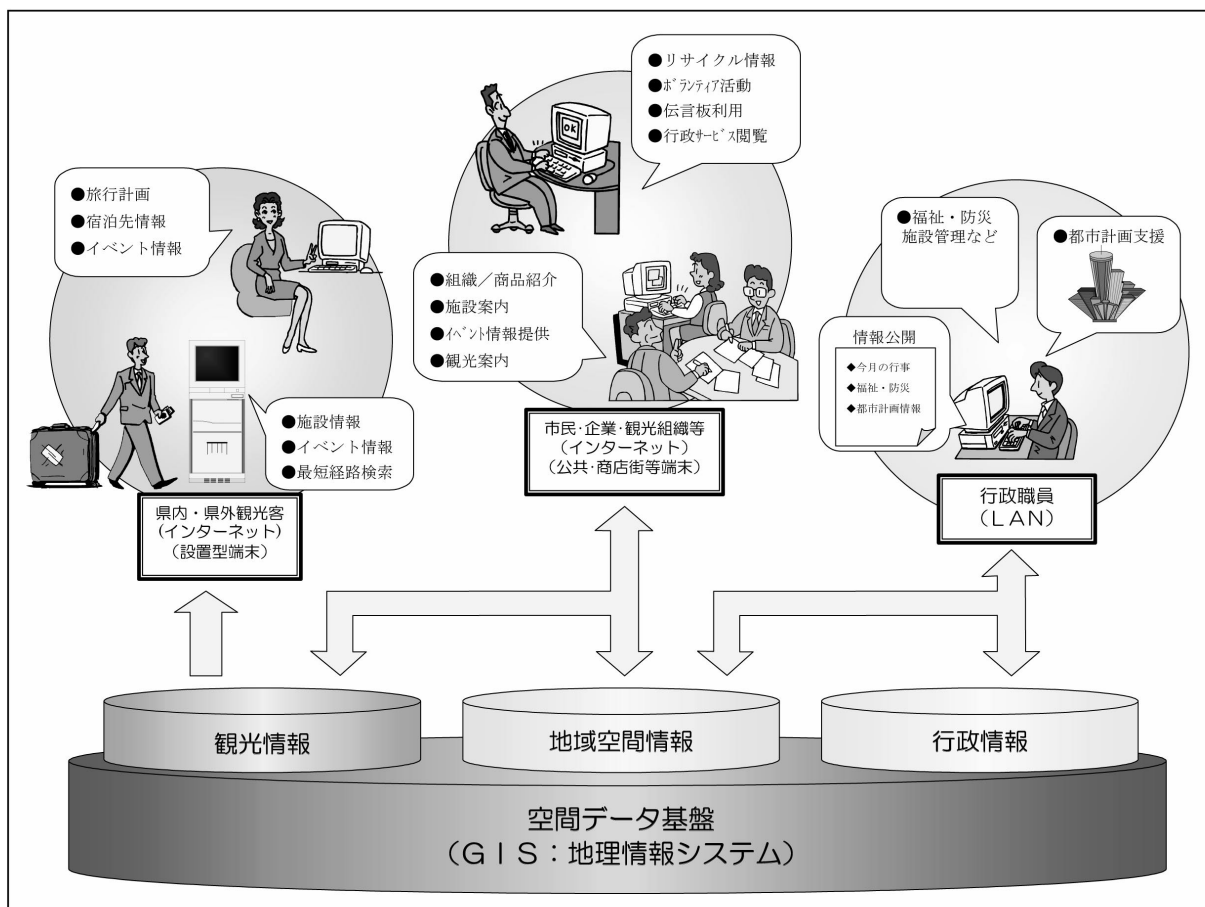
システム概要

このシステムは行政情報管理システム、地域空間情報システム、観光情報システムからなり、地理情報システム（GIS）をベースにした、行政による市民への福祉・防災・都市空間情報等の提供と、インターネットによる医療・教育・金融・商業・観光施設等の地図情報を公開するもので、市民参加によるデータの登録・更新が可能であることも特徴です。

高齢化、国際化、情報化が急速に進むなか、沖縄市では「国際文化観光都市」を標榜し、活気のある住みよい街づくりの実現のためにこのシステムを活用しています。

平成12年4月に稼動したこのシステムは、その後に庁内、市内の通信インフラの拡充が進み、コンテンツとアプリケーションも豊富になり、日々成長・進化しています。これからも電子自治体の実現に向け、ブロードバンドの流れを捉えつつ、更なる市民サービスの向上を目指します。

＜システム構成＞



ブースNo.7

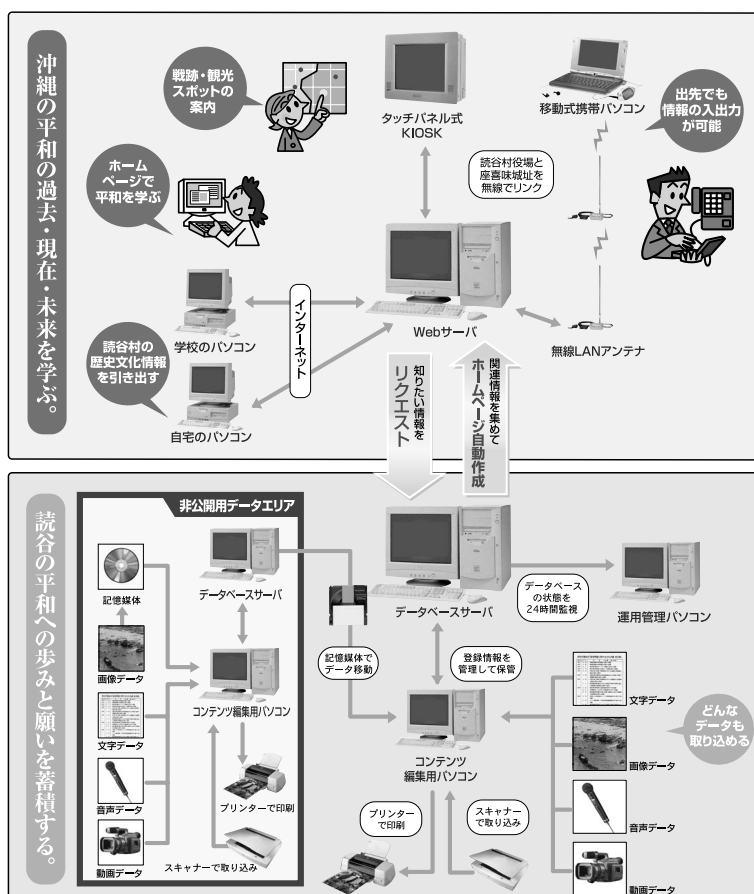
要 請 者：読谷村企画・分権推進課

TEL : 098 - 982 - 9200

申請者：（有）琉球出版社

TEL : 098 - 831 - 7588

「読谷バーチャル平和資料館」は、インターネットを活用したインタラクティブな平和学習環境を構築し、全国・世界に向けて平和学習の場を提供する。さらには、インターネットやPDA端末を通してユーザからの反応を収集し、地域ボランティアと村外からの来訪者にリアルタイムの平和学習の場を提供することで、参加者同士の相互コミュニティを実現する。主な機能は、Webサーバ・データベースサーバ・コンテンツ用編集端末との連携により、インターネットやLAN（無線LANを含む）に接続された端末からの多様なリクエストに応じて平和情報を収集・自動表示することで、随時更新されるデータベース上のコンテンツを、Webサイト上にリアルタイムに提供する、地図情報と施設情報の連携による旅行見学コース案内、地域住民の交流を支援する、等から構成される。本システムにより、管理者は煩わしいホームページ更新作業から開放され、コンテンツデータベースの作成に専念でき、ユーザはリアルタイムな情報が得られる。



ブースNo. 8

開発テーマ：**地域生活空間創造情報システム整備事業**

座間味村バーチャルアイランズコミュニティシステム開発

要 請 者：座間味村役場

〒901 - 3402 沖縄県座間味村109

TEL：098 - 987 - 2311

申 請 者：アイオニクス沖縄（株） 公共ソリューション部

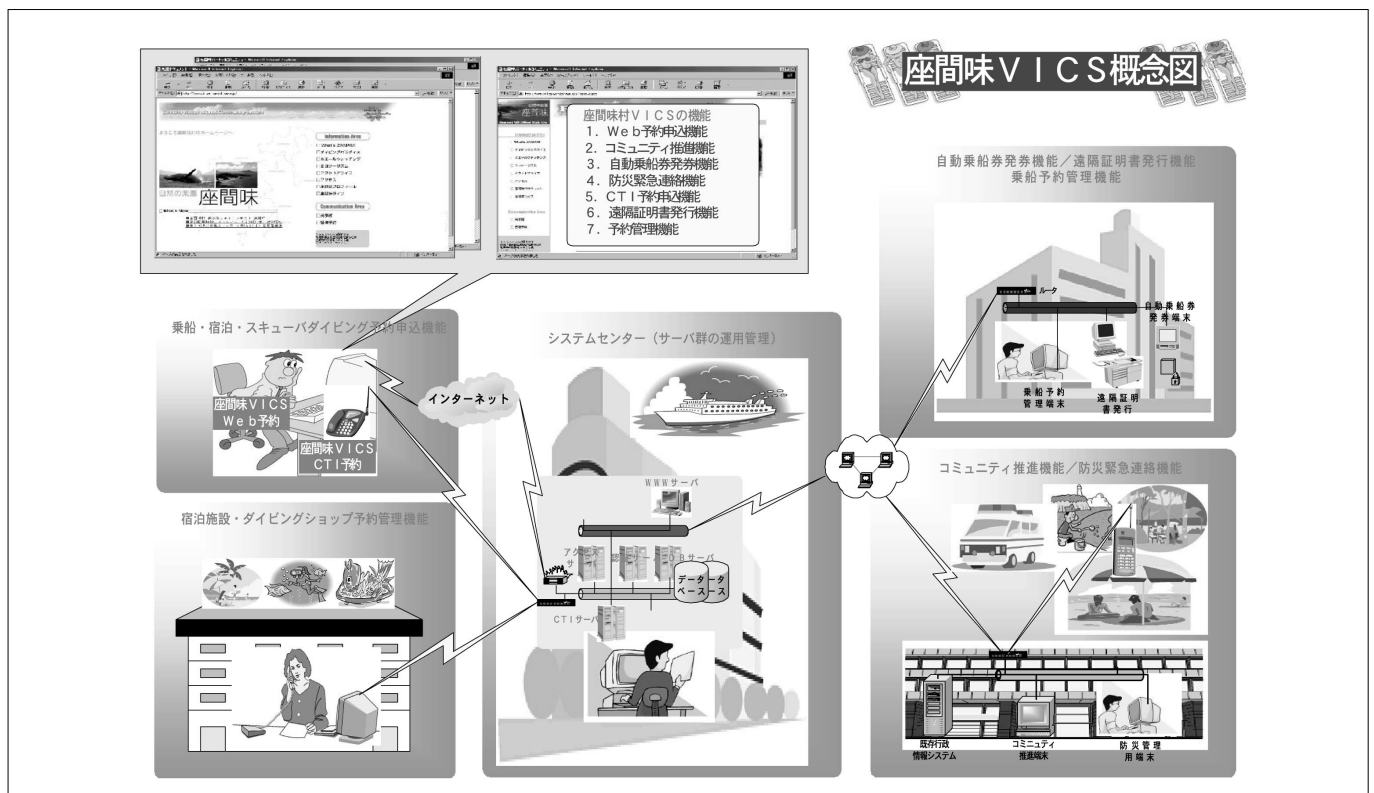
〒901 - 2123 沖縄県浦添市西洲2 - 2 - 3りゅうせきビル3F

TTEL：098 - 876 - 9537

システム概要

沖縄本島の洋上約40kmに位置する座間味村は、3つの有人島とその他の無人島からなり、約1000人の住民が居住しています。主な産業は豊富な自然資源を活用した観光産業です。行政サービスの向上、観光客へのサービス拡大とオフシーズン時の観光需要の拡大を図る為、更に村内外から座間味村の活性化についての建設的な提言を募る為の情報インフラ構築が求められていました。

このような課題を踏まえ、座間味村バーチャルアイランズコミュニティシステムは、地方自治体（役場と役場出張所）と第三セクター（株21・ざまみ）、システムセンター（アイオニクス沖縄株）、ダイビングショップ、民宿、会員ユーザ及び一般ユーザの自宅や勤務先を専用回線や公衆回線またはインターネットで接続し、主に観光客には防災緊急連絡のサービス、インターネットやCTI（音声自動応答）を活用した宿泊施設・スキューバダイビング・乗船券の予約サービスと自動乗船発券等のサービス及び座間味村の観光情報等を提供し、住民には遠隔証明書発行のサービスを提供する離島振興の未来型システムとして構築しました。



ブースNo. 9

開発テーマ：『石垣メロウ観光ガイドサービス事業』

要 請 者：八重山観光ガイドボランティアの会

〒907-0013 沖縄県石垣市浜崎町1-1-4

TEL：09808-2-2809

申 請 者：社団法人石垣市観光協会

〒907-0013 沖縄県石垣市浜崎町1-1-4

TEL：09808-2-2809

システム概要

事業の内容としては、多様化する観光客のニーズに対応すべく観光企画サービスの一環として、八重山観光ガイドボランティアの会が中心となり、小グループの観光客、修学旅行（教育旅行）団体の班別学習、また滞在型観光客への観光ガイド派遣を行い、人と人とのふれあいを大切にした、人情あふれる八重山特有の観光ガイドシステム（ホスピタリティー型ガイドシステム）を提供するものであります。

システムの概要は、インターネットを活用した情報の発信（HP）と観光ガイドの予約管理システム（ボランティアガイド管理システム）を構築し、情報の発信をとおし多くの観光客誘致に努めるとともに、情報端末を活用することによる業務の効率化を図る。また、高齢者が情報端末を容易に活用出来るようシステムにタッチ式ディスプレイを活用するとともに、高齢者の容易な操作で（モニタディスプレイ画面上を指で触れて操作する）HP等の更新作業が出来るよう観光情報の更新システム（ITA）も整備した。

ブースNo. 10

開発テーマ：OKINAWA SENIOR NET 熱帯果樹倶楽部事業

要 請 者：沖縄県官公庁労働者共済会

〒901-0027 沖縄県那覇市旭町3-4

TEL：098-862-0166

事業紹介

概要

本事業は、シニア熱帯果樹ビジネスに必要な知識やノウハウを学ぶことで、全国一の長寿県・沖縄のシニアの元気な社会参加を支援するものである。

熱帯果樹農業は沖縄県の成長産業の一つであり、退職後に取り組みたいとする人が多い。

知識さえあればシニアの体力に適しており、高収益が期待出来るので、長年県の農業試験場や関連部署で、研究・指導に携わってきた、官公労働共済会退職者会等のシニアの知識を活用した、熱帯果樹事業を展開することで、シニアの生き甲斐づくりやビジネス化支援につなげている。

情報化の狙い

果樹園栽培の成長記録等をデジタルで記録・保存することにより、熱帯果樹農業の安定収穫を目指したり、苗、種子の仕入れ管理、在庫管理、実売管理等を行うにより、効率の良い農業経営を図る。

また、会員同志の情報交換・コミュニケーションアップや、Webサイトによる情報発信、事業のPR、仲間募集等も行い、いずれはe-コマースによる独自の流通経路を構築したいと考えている。パソコン初心者がほとんどだが、地道に「パソコンに親しむ」ら始め、着実に成果をあげている。

高齢者・障害者の役割

この事業に参加するシニアは、1)に関する知識・ノウハウを提供する指導者、2) 熱帯果樹生産の実践者、3) Webサイトのコンテンツ素材提供者(デジカメやテキストデータによる成長記録等)、4) 熱帯果樹事業に関する共同研究者、5) 熱帯果樹園の経営者(個々の土地を活用)等の役割がある。当面はリーダーとなるシニアの仲間への指導にあたり、受講者が次のステップでは、仲間に教える立場となって、チームワークを広げていく。

ブースNo. 11

開発テーマ：**ホスピタリティ型石垣観光情報システムの開発**

要 請 者：石垣市 総務部企画室

〒907-8501 沖縄県石垣市美崎町14番地

TEL：09808-2-9911（代表）

申 請 者：(株)タウンマネージメント石垣

〒907-0022 沖縄県石垣市大川208番地

TEL：09808-4-3477

ホスピタリティ型石垣観光情報システムの概要

システムのねらい

- ストリーミング技術などを活用したホスピタリティ型観光情報の提供
- 石垣・八重山観光物産ECシステムの開発と運営
- 地域住民参加型のコンテンツ製作

システムの特徴

- 地元の業者や人材が中心となって運営が可能
- 運営管理の業務負荷が少ない
- 通信やサービス利用に関するコストが安い
- 将来の機能拡張に柔軟に対応可能
- 親しみやすいコンテンツ

TM石垣ネットワーク構成図

